

文化トピックス

曲り家二棟が国登録有形文化財に

遠野ふるさと村内にある南部曲り家二棟が、新たに国の登録有形文化財に登録され、十一月九日に登録証が交付されました。今回登録されたのは、肝煎りの家(旧鈴木譽子家)と大野どん(旧菊池利喜蔵家)です。



肝煎りの家(旧鈴木譽子家)



大野どん(旧菊池利喜蔵家)

日付けでこびるの家(旧菊池喜二右門家)と弥十郎どん(旧菊池サイ家)が登録文化財になつておらず、同村に六棟ある古民家のうち四棟が登録されたことになります。

「肝煎りの家」は、綾織町砂子沢集落から移築された中二階を持つ大規模な曲り家で、江戸時代末期の代表的な民家です。大サインが登録文化財になつております。同村に六棟ある古民家のうち四棟が登録されたことになります。

十王仏像、葬頭河婆像

亡者は救われるときがあります。葬頭河婆は「脱衣婆」とも呼ばれ、三途の川のほとりで、亡者の着物をはぎ取るとされる老婆のことです。

死後の罪を軽減してもらおうとする十王信仰は、鎌倉時代以後に盛んになりました。指定文化財となっているのは、十王仏像八体と葬頭河婆像一体です。

十王とは冥土で亡者の罪を裁くとされる十人の裁判官のことです。人が死ぬと一定の期間ごとに次々と生存中の罪を審判され、その結果、来世の処遇が決まるといわれています。

審理は死後七日ごとに行われ、その後百日、一年、三年と十回にわたって生前の罪の裁きを受けます。それぞれの日の裁判官である十王と、亡者を救済してくれる仏・菩薩が定められています。その日に供養するこによつて、その日に



像高①31.5cm ②32.5cm ③30.7cm ④30.5cm
⑤27.5cm ⑥30.5cm ⑦28.5cm ⑧29.5cm
⑨(葬頭河婆像) 30.2cm

市長ひとこと

夢と希望を笑顔いっぱいに

昨年は、多くの市民の皆さんの参画を得ながら「永遠の日本のふるさと遠野」を目指して総合計画・基本計画、制作年代は近世初頭ごろと考えられています。両手や顔の欠けたものもありますが、素朴でユーモラスな表情に特徴があります。会下家の十王堂には、この像の他にも別の時期に作られたものがあり、信仰の変遷を知る貴重な資料といえます。

所在地：遠野町
所有者：会下直義氏
市指定有形文化財彫刻



本

一般向け



「樋口可南子のものがたり」
清野恵理子著



9

シリーズ 虫の世界

マメコガネ コガネムシ科

体長が9~13ミリほどの小さな甲虫です。庭の草花などの近くによく見られます。

あるそうです。
一種類の虫が大発生するといふことは、生態系の網の目が、それだけ大きくなっていることなのだと思います。

成虫のオスは、短い触角をいっぱいに開いて、メスからのフェロモン(匂い)をじっと待ちます。成虫は葉を、幼虫は根を食べることから、北アメリカのブドウ園が大被害を受けたこと

二〇〇一年七月
新町で撮影

◇遠野物語ファンタジー公演「いち輝く花いちりん」3日(日)
午後6時30分、4日(月)午前10時30分、午後2時30分 市民センター大ホール

◇第24回遠野昔ばなし祭り 3日(土)、4日(日)午前10時~午後3時 伝承園

◆博物館講座「20世紀陶芸の鬼才・加守田章二
催し物案内

法犬花丸のひみつ(那須正幹)▽ラーバンとラボリーナの「はい、いますぐ」(イングルサンドベリーラ)▽お手紙レッスン(ジ・D・ルーカス)



「ピカピカドキドキ」
あきやまだだし著

ゆかりちゃんは、絵本がないと眠れません。まつらやみの中、お兄ちゃんと絵本をさがしに行きました。「ピッカ」とあかりがつくと、そこには…。

子ども向け

大好きな街、京都とその周辺を訪ねて、樋口可南子を魅了した物、人と自然の家の完成に関わった日本の良いもの、美しいものを綴る一冊。



「樋口可南子のものがたり」
清野恵理子著